

閉会挨拶

理事長の平垣内でございます。

本日は、実態に即した大変盛りだくさんの内容で本当にありがとうございました。本日も登壇いただいた講師の皆様に厚く御礼を申し上げます。

本日お話を伺っておりますと、先ず脱炭素の話は、従来の安全規制や環境規制とは全く異なり、具体的方法論ありきでなく、とにかく目標を決めその実行を模索するというものと改めて認識させていただきました。

基幹航路あるいは抜港の話は、日本全体の GDP シェアが最盛期の三分の一になるなか、先ほどお話にありましたビジネスサークルを回避するためには待ったなしの課題であること、スコープ3やサプライチェーンの話を解決するには海運だけでなく、すべてのモードと荷主を巻き込む話であることも重要です。

当センターといたしましても、今後とも海運分野は勿論のこと、荷主やフォワーダー、さらには国際貿易など様々な動向に引き続き注目して参りたいと思います。

本日は長時間にわたりましてご参加いただき、誠にありがとうございました。